



## 全校朝会「『いじめ』について考えよう」

9月3日(火)の全校朝会では、全校で「いじめ」について考えました。

まず、「いじめとはなにか」ということについて各学級で話し合ってもらい、「相手が傷つく言動がいじめ」等の意見が出され、「相手が心身の苦痛を感じた場合、それはいじめになる」、「相手が嫌だと思っていなくても人を傷つけることはいじめになる」ということ、また、いじめには、「からかい」「仲間はずれ」「悪口」「無視」「命令」「落書き・物かくしなどのいやがらせ」など色々なものがあることを確認しました。そして、いじめを受けた側は心に深い傷を負い、さらにその傷は、ずっと残り続けてしまうことになり、いじめが、いかにいけないことであるかを伝えました。また、いじめが起こった時には、いじめた本人がもちろん一番いけないが、「いじめを知っていたのに黙っている人」などもいじめに加担していることになる、勇気を出して知らせてほしいことを話しました。

そして、今後、いじめのない学級にしていくために、「暴力」や「チクチク言葉」をなくし、「ふわふわ言葉を増やそう」等を改めて確認しました。

「いじめをしない思いやりのある心」を育てるためには、学校での指導のみでは十分ではありません。ご家庭でも子どもさんの学校での様子を気にかけていただいたり、人への関わり方などについて、折に触れてお話をしていただければと思います。

子どもたちに話した内容(スライドの抜粋) ※省略

## 「紀貫之探訪の旅」に行ってきました(6年生)

9月6日(金)に、6年生が滋賀県の比叡山にある紀貫之の墓参を行う「紀貫之探訪の旅」に行ってきました。本校の歴史・文化と大きな関わりのある「土佐日記」の作者、紀貫之の墓参を行うこの旅は、大変意義深い活動であり、地域の方々や俳句の先生方にお世話になり実施しています。

行きのバスの中では、紀貫之や俳句についてのお話をいただきながら墓参への思いを高めました。比叡山に到着しケーブルカーで移動した先は、琵琶湖が一望できる素晴らしい眺めでした。そして、高知県大阪事務所や京都高知県人会の方々に温かく迎えていただき、ケーブルカーの仕組みの見学をしました。

その後、徒歩で紀貫之のお墓に向かいます。木漏れ日あふれる木の根道を進み、20分程で到着です。お墓の掃除・お供えをし、各自が手を合わせました。貫之さんが赴任した地で元気に過ごしていることを報告したことでしょう。そして、これまで練習を重ねてきた「土佐日記」の暗唱を墓前で行いました。静かな山中に子どもたちの声が響き渡り、何とも素敵な時間でした。貫之さんもさぞ喜ばれたことでしょう。

帰りの車中では、見てきたこと・感じてきたことをもとに俳句作り。先生方のご指導をいただきながら、俳句づくりを行いました。

千年以上もの時を経て、今を引き継ぐ本校の子どもたちがこの地を訪問することは、大変意義深いことであり、地域に誇りを持ち地域の歴史や文化を大切にす気持ち育成するために、今後も大事にしていきたい活動です。

同行していただいた皆様、事前準備等も含め、本当にありがとうございました。

現地の方々に挨拶



琵琶湖一望



貫之さんの眠るお墓



手を合わせお参り



土佐日記暗唱

